



学校だより特別号

令和8年10月9日

札幌市立福住小学校

『令和8年度 全国学力・学習状況調査』 本校6年生結果概要等のお知らせ

令和8年4月に、全国の6年生を対象として『令和8年度 全国学力・学習状況調査』が実施されました。本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

札幌市では、「学ぶ力～自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力～」 「豊かな心」「健やかな体」を中心とした教育の推進を目指しています。本校でもこれらの視点を大切にした教育活動を進めており、今回の調査結果を全国の結果と比較・分析し、本校の教育活動の充実・改善に生かしてまいります。

なお、本調査により測定できるのは調査の特定の一部分であり、教育活動の一側面であることを御理解いただきたく存じます。

【国語】 本校6年生の調査の結果概要及び学びの改善の方向

本校6年生の調査結果の概要

- 「言語の特徴や使い方に関する事項」
◎全国平均を上回っています。
- 「情報の扱い方に関する事項」
○全国平均とほぼ同程度ですが、やや上回っています。
- 「話すこと・聞くこと」
◎全国平均を上回っています。
- 「書くこと」
◎全国平均を上回っています。
- 「読むこと」
◎全国平均を上回っています。

調査における成果と課題

- ◎漢字の書き取りや語彙等の言語知識が定着しています。
- ◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができています。
- ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができています。
- 集めた情報から条件（書名、本文の内容、かっこ書き等）に沿って必要な要素を抽出し、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することについて、課題が見られました。
- 考えがどのような理由や事例によって、支えられているのかを吟味することに課題が見られました。

学びの改善の方向

- ☆目的や条件に応じて、複数の資料や情報から必要な要素を適切に選択・整理し、根拠を明らかにして条件を満たした記述をする学習活動を充実させます。
- ☆国語科の日常の授業において、目的や相手を明確にし、文章全体の構成や展開、文と文との論理的なつながりを意識して読み書きする機会を充実させます。

【算数】本校6年生の調査の結果概要及び学びの改善の方向

本校6年生の調査結果の概要

- 「数と計算」
○全国平均とほぼ同程度ですが、やや上回っています。
- 「図形」
○全国平均とほぼ同程度ですが、やや上回っています。
- 「測定」
◎全国平均を上回っています。
- 「変化と関係」
◎全国平均を上回っています。
- 「データの活用」
◎全国平均を上回っています。

調査における成果と課題

- ◎割合と比較量から基準量を求める場面において、割合の意味を正しく理解し、立式して求める力が定着しています。
- ◎数直線上の目盛りに着目し、仮分数の大きさを基に基準となる「1」の大きさを捉える知識・技能が定着しています。
- 立方体の体積を求める際に、体積の公式に基づいて正しく立式すること（一辺×一辺×一辺）に課題が見られました。
- 目的の位（千の位）までの概数にするため、四捨五入する位（百の位）を正しく判断して概数処理することに課題が見られました。

学びの改善の方向

- ☆立体の体積の公式の意味や構造、概数の処理（四捨五入する位の判断）といった基礎的・基本的な概念や処理技能の確実な定着を図ります。
- ☆日常生活の事象から数量の関係や図表の情報を適切に読み取り、筋道立てて論理的に考え表現する学習活動の充実を今後も進めていきます。

【児童質問紙調査】本校6年生の結果の概要

- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が99%（全国平均 95.8%）、「人が困っているときは進んで助けていますか」の質問に対し、98.0%（全国平均 92.7%）、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対し、87.1%（全国平均 80.1%）となっています。
- 「学級の友達との間で話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりできていますか」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が91.1%（全国平均 85.7%）となっています。
- 「分からないことや詳しく知りたいことがあった際に、自分で学び方を考え工夫することはできていますか」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が86.1%（全国平均 79.4%）となっています。
- 「あなたの学級では、学級生活をより良くするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして、解決方法を決めていますか」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が90.1%（全国 81.5%）、「道徳の授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」という質問に対し、97.1%（全国 86.9%）となっています。
- PC・タブレットなどのICT機器を使った質問に対し、肯定的に答えた児童の割合は「文章作成」では88.1%（全国 79.1%）、「情報収集」では89.1%（全国 84.9%）、「プレゼンテーション作成」では81.1%（全国 74.6%）となっています。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が、90.1%（全国 82.8%）、「毎日同じくらいの時間に起きていますか」では97.0%（全国 90.7%）となっています。

- 「自分にはよいところがあると思う」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が80.2%（全国平均85.6%）となっています。
- 「将来の夢や目標を持っている」という質問に対し、肯定的に答えた児童の割合が81.2%（全国平均81.8%）となっています。
- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」という質問に対し、1時間以上勉強する児童の割合が36.7%（全国平均39%）となっています。

全国学力・学習状況調査の結果を受けた本校の今後の方向性

本調査の結果から、国語と算数の学力面については、全般的に学習内容の定着が図られているとともに、思考力・判断力・表現力を問う記述式問題（算数の送料説明問題や国語の体験記述等）やデータ・図表の読み取り等で高い成果が見られました。一方で、算数における立体の体積の立式（立方体公式）や概数処理（四捨五入する位の判断）、国語における条件に沿った正確な記述などに課題が見られました。

本調査結果における成果や課題、札幌市で目指している「生涯にわたって学び続けるための『学ぶ力』の育成」を踏まえ、本校では、「一人一人が自ら考え、つながりの中で学びを深める授業」を更に充実させます。成果の見られた対話的な学びやICT活用を推進しつつ、課題である基礎的な計算・体積の立式・概数処理や、条件に沿った正確な記述力の育成に取り組みます。また、「学ぶ力」の育成の習慣づくり・環境づくりを進め、社会に生きて働く「本物の経験」となり得る場を創出していきます。

本市学校教育の基盤である「人間尊重の教育」の観点では、児童の高い地域社会貢献意識や対話への前向きな姿勢を一層伸ばすとともに、課題が見られた「将来の夢や目標」「自己肯定感」を高められるよう支援してまいります。子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する相互承認の感度を高められるよう、互いのよさや可能性を発揮できる「学級活動づくり」、互いのよさや可能性を認め合える「人間関係づくり」、安心して過ごすことができる学校の「環境づくり」を進めてまいります。

なお、3学期の学年末懇談会の時期に、今年度の具体的な取組の様子について、御説明いたします。御家庭におかれましても、家庭学習や読書習慣づくり、温かい励ましのお声かけなど、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。